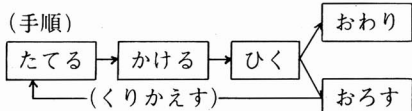


順を明確におさえる。また、数を書きこむことによって、操作によって動かされていくお金の跡を数で明示しておく。それに、お金を全部取り去ると、数の計算が残り、お金と数が結びつき、除法の筆算形式の原理・手順を理解させやすいと考えた。

ウ 分ける位や数、商を立てる位を明確にするため、カバー用紙で分ける位以外をおおい、1回の分ける操作が終わるたびにずらし、次の位を表し、「おろす」操作をさせる。

エ 手順のことはをいわせながら、数を書きこませ、お金の操作と計算の手順のことは一致させることにより、筆算計式の原理・手順をしっかり身につけさせる。



オ 「 $7 \div 3$, $14 \div 3$ 」の計算と対応させ、既習の計算のくりかえしであることに気づかせる。

カ 「おろす」ことの意味を、具体物の操作をとおして理解させる。

② 検証授業

ア 単元名 わり算3

イ 目標 除数が1位数で、被除数が2~4位数の場合について、除法の筆算形式による計算の原理とその手順を理解させ、これを適用する能力を伸ばす。(立式と暗算の目標を略す)

ウ 指導計画 (総時数11時間)

- わり算 (1) 5時間
 - ・ 除法計算の意味..... 1
 - ・ 2位数÷1位数の筆算形式... 1 (本時)
 - ・ 3 (4) 位数÷1位数..... 1
 - ・ 商に空位を含む計算..... 1
 - ・ れんしゅう..... 1
- わり算 (2) 3時間
- まとめ・暗算・練習 3時間

エ 本時のねらい

2位数÷1位数(商2位数)の筆算形式の原理・手順を、模造お金を分ける操作をとおして理解させる。

オ 準備物

(教師) 模造お金、数字カード、操作板、問題文
(児童) 模造お金、操作板、カバー用紙

カ 指導過程

学習活動・内容	時間	指導上の留意点※評価
1. $7 \div 3$ $14 \div 3$ の計算をする。	5	○計算の手順を確認する。 ※ 正しく計算できたか。
2. 本時のめあてをつかむ。	7	
74円を、兄弟3人で同じく分けて使います。1人何円ずつ使って、何円あまりますか。		
(1) 立式・求答		○お金を分ける操作で答えを求めさせる。
(2) 「 $\overline{)}$ 」で表す		○「 $\overline{)}$ 」の形で表させ、本時は、この筆算の方法を考えることをつかませる。
(3) 本時のめあてをつかむ。		※「 $\overline{)}$ 」の形に表すことができたか。
筆算のし方		
3. 筆算形式による計算のし方を考える。	20	○操作板を用い、お金を分けて、自由に操作させる。
(1) お金の操作		○十の位から分けることを確認し、一の位をかくさせる。
○ 商を立てる。		○操作をとおし、「おろす。」意味をつかませる。
○ かける。		○分けたお金が十円か一円かで、商の立つ位を確かめさせる。
○ ひく。		○数の操作とお金の操作を対応させて、手順をつかませる。
○ おろす。		○既習の計算のくりかえしに気づかせる。
○ くりかえす。		
(2) 計算する。		
○ 手順・用語		
○ $7 \div 3$ $14 \div 3$ との対比		
(3) $34 \div 3$ の計算		○操作板でお金を操作させ、計算の原理・手順をしっかりつかませる。
○ お金の操作		